

令和 7 年度 社会福祉法人いなかわ福祉会 事業計画書

- ・ 本部事務局
- ・ 湯沢市稲川・皆瀬地域包括支援センター
- ・ くるみケアプランセンター
- ・ 健 寿 苑 （ショート含む）
- ・ いなかわ福祉会ヘルパーステーション
- ・ ケアセンターいなかわデイサービス
- ・ ケアセンターいなかわ（特養）
- ・ 配食サービス
- ・ スマイルケアみつなし（特養）
- ・ 小規模多機能型居宅介護事業所
- ・ ヘルスカフェ舞夢
- ・ あおぞらこども園
- ・ いなかわキッズ

目 次

はじめに（いなかわ福祉会全体の計画）	・・・	1 ページ
令和 7 年度事業計画		
本部事務局	・・・	2 ページ
湯沢市稲川・皆瀬地域包括支援センター	・・・	5 ページ
くるみケアプランセンター	・・・	8 ページ
健寿苑（ショート含む）	・・・	11 ページ
いなかわ福祉会ヘルパーステーション	・・・	15 ページ
ケアセンターいなかわデイサービス	・・・	17 ページ
ケアセンターいなかわ（特養）	・・・	20 ページ
配食サービス	・・・	22 ページ
スマイルケアみつなし（特養）	・・・	23 ページ
小規模多機能型居宅介護事業所	・・・	26 ページ
ヘルスカフェ舞夢	・・・	29 ページ
あおぞらこども園	・・・	31 ページ
いなかわキッズ	・・・	35 ページ
年間行事・活動予定表	・・・	37 ページ
用語一覧	・・・	38 ページ

令和7年度 社会福祉法人いなかわ福祉会 事業計画

経営改善計画5年目の年度として、これまでの4年間の取り組みの成果をより一層飛躍させることができるよう、職員、法人、地域それぞれの可能性を高める取り組みを進めてまいります。

昨年度は、介護報酬改定と併せて診療報酬・障害福祉サービス等報酬のトリプル改定がありましたが、大きな報酬増の改定とはなりませんでした。今後も社会保障費の増大等社会情勢を踏まえると報酬増の改定は期待できない状況にあります。物価高騰、担い手不足、賃金の上昇、人口減少等、福祉事業を取り巻く環境は厳しさを増しております。

変化が著しい社会情勢においても当法人は社会的価値のある事業を存続させるため、健全なサービス提供をしていくと共に、持続可能な法人経営へと転換していく必要があります。サービス提供の見直しや将来考えられる事業経費、考えられるリスクなどについても、常に数年先の将来像を描きながら運営し、本会の組織体制の強化、職員の資質向上等に努め、当法人が掲げる「住民のため、地域のため、自分の夢のため」という基本理念に基づき、役職員一丸となって地域福祉の推進に取り組みます。

社会福祉法人いなかわ福祉会基本方針

1.人権の尊重

利用される方の人権を尊重し、個人の尊厳に配慮したより質の高い福祉サービスを提供します

2.地域福祉の推進

地域のニーズに対応し、地域と共に発展する組織を目指します

3.職員処遇の向上

良質な福祉人財を確保するため、職員の安全と健康を確保し職員の処遇全般の向上に努めます

4.経営の安定

持続可能な福祉の実現に向け経営基盤の安定に努め、社会的責任を果たします

令和7年度事業計画	事業所名： 本 部 事 務 局
現状と今後の方向性	中期経営改善計画5年目、計画に沿い事業を進めてまいりました。 これまでの成果と現状を踏まえ、計画の変更も含め協議しながら残り2年、法人として最善の選択ができるよう努めます。
重点目標	◎ サービス体制の強化 ・ 目標管理制度と人事考課制度の充実 ・ 介護・保育人材の確保・育成 ・ キャリアパス整備 ◎ 職員の健康増進 ・ 健康指導・ストレスチェック制度実施等により、健全な就業ができるよう取り組む ◎ 収入の安定的増加と経費の適正配分 ・ 加算等要件を満たした職員配置 ・ 事業の見直し、再編の検討と実行 ◎ 経営状況の把握 ・ 月次決算による検討会等の開催 ・ 顧問税理士との月次・四半期ごとの財務状況確認 ・ 法人監事による、四半期監査の実施 ◎ 福祉ニーズに対する事業展開の継続 ・ 各事業所、拠点の問題点の見直し

会議開催一覧表

会 議 名	活 動 内 容	開催時期・頻度
理 事 会	・業務執行、事業方針の策定、実施 ・経営・運営の提案 ・収支決算書・予算書の作成、報告 ・法人事業計画の作成、報告 ・設備投資計画、採用計画の提案 など	年 4 回
評議員会	・定款変更等の承認 ・事業方針の承認 ・経営・運営の提案、承認 ・法人経営・運営に関する議決機関 ・収支決算書・予算書の報告、提案、承認 ・法人事業計画の承認 ・設備投資計画、採用計画の提案、承認	年 4 回
監 事 会	・監査報告書の作成 ・財務諸表、事業報告の監査 ・理事業務執行の監査 ・法令遵守に沿った構成・適切な取引の確認 ・法人財務状況の確認	年 4 回
第三者委員会	・苦情解決処理表を基に報告、質疑応答 ・苦情解決について検討	年 1 回

教育訓練・研修等

プログラム名	対象者	教育訓練内容	講師等	実施期間
会計・税務等勉強会	事務担当職員	・法律、会計、税、就労に関する知識向上を図る	税理士 社会保険労務士等	年数回
外部研修	事務担当職員	・会計、日常業務に関する各種説明会セミナー等への参加 ・法改正に関する説明会等出席	学識経験者	随 時

各種委員会（福祉会全体）

会 議 名	活 動 内 容	開催頻度
業務改善委員会 経営検討会	・法人全体の経営・運営に関する業務について検討 (業務改善委員会 所長以上参加 経営検討会 副施設長以上参加)	各年 4 回以上
行事・広報委員会	・全体研修の実施 ・月刊「いなか福祉会だより」発行 ・「さに一ふれいす」発行	随 時
衛生管理委員会	・職員の健康増進について ・事業場における安全衛生に関する調査・報告 ・健康診断、ストレスチェックの実施 ・感染症発生時の対応検討と対策の徹底 ※感染症流行時は特別対策本部として施設長が担当者を 召集し対応する	年 6 回

各種委員会（拠点ごとに活動）

会 議 名	活 動 内 容	開催頻度
防災委員会	・職員個々の防災意識の啓発と連携 ・火災、震災、その他の災害から利用者の生命と 財産の安全確保	年 2 回以上
食事委員会	・食についての勉強会 ・行事食等の検討	年 12 回
環境美化委員会	・施設内外の環境整備 ・ボランティアとの共同活動	年 4 回
生産性向上委員会	・現場における課題を抽出及び分析 ・利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の 負担軽減に資する方策	随 時
安全対策委員会	・事故防止の事例検討、データ集計 ・身体拘束について ・虐待防止について	年 4 回

※各拠点に独自の委員会を設置している

令和 7 年度事業計画	事業所名： 湯沢市稲川・皆瀬地域包括支援センター
現状と今後の方向性	この地域に暮らす高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活を送り続けられるよう、専門職の支援力向上を図り、信頼のできる相談窓口づくりを目指します。 また、関係機関や事業所と日常的に相談・情報共有を行い、円滑な相談支援が実現できるよう努めていきます。
重点目標	◎ 総合相談 ・来所、電話、訪問にて迅速に相談対応する ・職員の資質向上に努め、市や関係機関と連携し相談しやすいセンターを目指す ◎ 権利擁護業務 ・成年後見制度の理解をすすめ、市と連携し適切に対応する ・高齢者虐待の対応、通報義務等についての周知 ◎ 地域ケア会議の充実 ・地域ケア会議、個別会議を開催し、課題を共有し解決に繋げる ◎ 包括的・継続的ケアマネジメント支援 ・ケアマネジャー連絡会等を通じて相談しやすい仕組みができる ◎ 介護予防の支援と推進・ケアマネジメントの実施 ・介護予防活動の普及と啓発を行う ◎ 認知症総合支援事業 ・市包括と協力してサポーター養成講座を実施し、サポーター養成を継続する

会議・委員会開催一覧表

会 議 名	活 動 内 容	開催時間・頻度
・個別ケア会議	・支援困難者事例に対し、個別地域ケア会議の積極的な活用	年 4 回
・地域ケア会議	・稲川・皆瀬地域にて情報交換	各月 1 回
・自立支援型ケア会議	・自立支援・介護予防の観点から多職種の助言を得る	年 2 回
・エリア会議	・安心生活創造事業の訪問員と社協との情報交換	6 ヶ月 1 回
・地域ケア推進会議 ・地域包括支援センター運営協議会 ・生活支援体制整備事業第 2 階層協議体会議 ・民協定例会稲川・皆瀬 ・地域密着型運営推進会議	・各種会議へ出席し情報交換	随 時
・認知症初期集中支援チーム会議 ・認知症カフェ等	・支援チーム員との情報交換 ・認知症の人と家族介護者の情報交換	随 時 年各 2 回以上

教育訓練プログラム

プログラム名	対象者	教育訓練内容	実施期間
包括在介職員研修	職 員	・包括ケア・地域福祉について	1 月
東北ブロック研修	職 員	・地域共生社会の実現にむけて	10 月
包括在介職員 現任者研修	職 員	・医療・介護・福祉の連携 ・グループワーク ・成年後見制度について	11 月
感染症及び予防及び蔓延 防止研修及び訓練	職 員	・感染症について学び具体的な対処、 処理方法を習得する ・嘔吐物処理の対応（実技を含む） ・防護服の着脱等	年各 1 回

虐待防止研修	職 員	・虐待防止について ・権利侵害等について	年 1 回
BCP 研修及び訓練	職 員	・災害等の緊急事態における早急復旧対策について ・危機的な状況に遭遇した時の対応について（実技を含む）	年各 1 回

令和 7 年度事業計画		事業所名： くるみケアプランセンター																								
現状と今後の方向性	多職種との連携や支援困難ケースへの積極的な対応を行うほか、専門性の高い人財を確保し、質の高いケアマネジメントを実施している評価としての特定事業所加算を算定しています。 今後も引き続き特定事業所加算算定事業所として、地域の利用者の多様なニーズに合わせた支援を行っていきます。																									
	◎利用者の尊厳を守り、適正な居宅介護支援事業を展開する ・ 自立支援の観点、利用者本位を基本に支援する ・ 公平、公正な立場で専門的な知識を持って情報提供し、分かりやすい説明を心掛ける ・ 法令順守、秘密保持、個人情報保護を徹底する ・ 職員の資質向上に努める ◎医療機関との連携を図り、在宅生活が継続できるよう支援する ・ 医療機関と連携し、退院後の迅速でスムーズな介護保険の利用に繋げる ・ 医療ニーズの高い利用者へ適切なサービスの提供ができるように支援する ・ 市、地域包括支援センター、各サービス事業所と情報共有する ◎社会資源の把握と地域との連携を強化する ・ 地域ケア会議での情報交換、情報提供を行う ・ 地域での見守り支援として、地区民生委員や近隣住民の方々と協力体制を作り、インフォーマルな社会資源の開拓を進める 月別利用者計画（延べ人数） <table><tr><td>4 月</td><td>5 月</td><td>6 月</td><td>7 月</td><td>8 月</td><td>9 月</td></tr><tr><td>158</td><td>158</td><td>158</td><td>158</td><td>158</td><td>158</td></tr><tr><td>10 月</td><td>11 月</td><td>12 月</td><td>1 月</td><td>2 月</td><td>3 月</td></tr><tr><td>158</td><td>158</td><td>158</td><td>158</td><td>158</td><td>158</td></tr></table> （要介護：150 人、介護予防・総合事業：8 人）			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	158	158	158	158	158	158	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	158	158	158	158	158
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月																					
158	158	158	158	158	158																					
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月																					
158	158	158	158	158	158																					
重点目標																										

会議開催一覧表

会 議 名	活 動 内 容	開催時間・頻度
ケアマネージャー会議	・前月の実績を考える ・地域ケア会議等から最近の動向把握 ・困難事例等ケース検討 ・研修報告 ・その他	月 1 回
ミーティング	・各自の予定の確認 ・他事業所からの連絡等	毎 日
特定事業所加算に係る会議	・利用者に関する情報又はサービス提供に当たっての留意事項に係る伝達等	週 1 回
事業内研修	・介護保険制度のほか、障害福祉の制度や社会資源等の勉強会の開催	随 時
事例検討会	・ヤングケアラー、障害者、生活困窮者、難病患者等他制度に関する事例検討会への参加 ・他居宅介護支援事業所と共同での事例検討会主催 ・主任介護支援専門員からの助言、指導等	随 時

教育訓練プログラム

プログラム名	対象者	教育訓練内容	実施期間
専門研修課程Ⅰ	実務就業後 6ヶ月以上	・ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定 ・介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状 ・対人個別援助技術及び地域援助技術 ・演習	8日間
専門研修課程Ⅱ 更新研修	実務就業後 3年以上	・介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開 ・ケアマネジメントにおける実践事例の研究および発表	4日間
研修会	職 員	・講演 ・演習等	年数回
主任介護支援専門員研修	実務就業後 5年以上	・主任介護支援専門員としての役割と視点 ・人材育成及び管理 ・運営管理におけるリスクマネジメント ・地域援助技術(コミュニティソーシャルワーク) ・医療との連携及び多職種共同実践ほか	11日間 (70時間)
主任介護支援専門員更新研修	主任介護支援専門員 実務就業後 5年以内	・介護保険制度及び地域包括ケアシステムの動向 ・主任介護支援専門員としての実践の振り返りおよび支援の実践 ・適切なケアマネジメント手法	8日間 (46時間)

感染症予防及び 蔓延防止研修	職 員	・感染症について学び具体的な対処、処理方法を習得する ・嘔吐物処理の対応（実技を含む） ・防護服の着脱等	年 1 回
虐待防止研修	職 員	・虐待防止について ・権利侵害等について	年 1 回
BCP 研修及び訓練	職 員	・災害等の緊急事態における早急復旧対策について ・危機的な状況に遭遇した時の対応について（実技を含む）	年各 1 回

令和7年度事業計画		事業所名： 特別養護老人ホーム健寿苑(短期入所含む)																																																
現状と今後の方向性	特養の移転から5年目の年度となります。苑入居者の平均介護度は4.0であり、医療重度者が多い状況にあります。加えて、介護現場における人財不足が著明であります。介護現場職員の頑張りにより、なんとか運営を維持できています。そのような状況ですが同敷地内で昨年度開業したサテライト型特養を含め、地域の方々に望まれている施設でもありますので、令和7年度も入居者が安心して生活ができ、質の良いサービス・ケアの提供ができるように努力します。 また、職員の育成やケアを心がけ、安定した収支を目指していきます。加えて、職員の心身の介護軽減を図るためのICT、介護ロボット導入に向けても検討していきます。																																																	
	◎入居（利用）者一人ひとりの個性や生活リズムに応じ、「その人が望む生活」を実現できるように努める ・入居（利用）者に寄り添う気持ちを大事に、その人の生活と向き合う ◎医療的ケア、看取り介護、口腔ケア等、職員共通の知識・技術の向上を図る。また、多職種連携により介護の質を向上していく ・外部研修への参加、施設内研修の開催を通し、職員の質の底上げを図る ・現場職員による情報共有を強化し、入居（利用）者一人ひとりにおけるケアの向上を図る ・科学的根拠に基づいたケアの取り組み、情報提供をしていく ・介護テクノロジー利用による介護職員の心身の負担軽減を図っていく ◎拠点としての地域的役割の確立 ・ケアセンターいなかの情報を地域住民に発信し、在宅介護から特養入居まで、介護ニーズに沿ったスムーズな介護サービスが提供できるよう、柔軟性の有る運営を心掛ける 月別入居者計画（特別養護老人ホーム健寿苑） 目標稼働率 96% <table><tr><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td></tr><tr><td>1,382</td><td>1,429</td><td>1,382</td><td>1,429</td><td>1,429</td><td>1,382</td></tr><tr><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr><tr><td>1,429</td><td>1,382</td><td>1,429</td><td>1,429</td><td>1290</td><td>1,428</td></tr></table> 月別利用者計画（健寿苑短期入所生活介護事業所） 目標稼働率 83% <table><tr><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td></tr><tr><td>100</td><td>102</td><td>100</td><td>102</td><td>102</td><td>100</td></tr><tr><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr><tr><td>103</td><td>100</td><td>104</td><td>104</td><td>92</td><td>103</td></tr></table>			4月	5月	6月	7月	8月	9月	1,382	1,429	1,382	1,429	1,429	1,382	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1,429	1,382	1,429	1,429	1290	1,428	4月	5月	6月	7月	8月	9月	100	102	100	102	102	100	10月	11月	12月	1月	2月	3月	103	100	104	104	92
4月	5月	6月	7月	8月	9月																																													
1,382	1,429	1,382	1,429	1,429	1,382																																													
10月	11月	12月	1月	2月	3月																																													
1,429	1,382	1,429	1,429	1290	1,428																																													
4月	5月	6月	7月	8月	9月																																													
100	102	100	102	102	100																																													
10月	11月	12月	1月	2月	3月																																													
103	100	104	104	92	103																																													
重点目標																																																		

会 議

会 議 名	活 動 内 容	開催時間・頻度
専門職会議	・ 苑内における重要課題について話し合い、課題解決を図る	月 1 回
職員会議	・ 介護部門における重要課題について話し合い、課題解決を図る（未解決課題は、専門職会議で話し合う）	月 1 回
ユニット会議	・ ユニット内における重要課題について話し合い、課題解決を図る（未解決課題は、職員会議で話し合う）	月 1 回
拠点リーダー会議	・ 事業所からの報告 ・ 業務の見直し ・ 介護、看護、相談員での問題点や方向性の確認	年 6 回

委員会

会 議 名	活 動 内 容	開催時間・頻度
行事・介護サービス委員会	・ 施設行事やレクリエーションの企画・運営・実施 ・ 業務等の検討・改善、個別ケアの実践等、介護サービスの向上を図る ・ 排泄ケア向上、褥瘡対策を検討 ・ 法人機関紙の作成（年 1 回）	適 宜
身体的拘束、虐待防止、事故防止委員会	・ 身体的拘束、虐待防止に係る検討 ・ 入居（利用）者の安全確保、事故発生時の最善の対処方法、再発防止を検証	適 宜 （年 4 回以上）
口腔・食事委員会	・ 口腔ケアの推進や知識・技術向上 ・ 食事に関する検討、企画、改善	月 1 回
感染症対策委員会	・ 感染症対策指導、研修実施	適 宜 （年 4 回以上）
環境整備委員会	・ 施設全体をきれいに住みやすい環境づくりを行う	適 宜
生産性向上委員会	・ 現場における課題を抽出及び分析 ・ 利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する方策	随 時

※その他、法人全体の委員会にも参加

教育訓練プログラム(外部研修)

プログラム名	対象者	教育訓練内容	講師等	実施期間
階層別研修	対象職員	・職務経験年数を基盤とした「新任」、「中堅」、「指導的立場」、「管理者」に必要な知識・技術を習得する	県福祉保健人材・研修センター等	階層別研修の開催月
各種専門研修	対象職員	・介護・看護・調理等にそれぞれ必要な専門知識・技術を習得する	県社協、県老施協等	各種専門研修の開催月

教育訓練プログラム(内部研修)

プログラム名	対象者	教育訓練内容	実施期間
新人・異動 職員研修	新任者	・業務全般、利用者緊急時の対応、書類の書き方、法令順守、個人情報保護等	4月 ～ 5月
口腔ケア知識・ 技術向上研修	職員	・歯科医師会や食介護研究会より講師を招き、口腔ケア知識・技術向上のための研修 ・口腔ケア総論（講義）、実技指導等	年2回
介護技術向上研修 (ポジショニング・ 体位交換等)	職員	・介護技術向上を目指し、身体のメカニズムや実演指導等を実施	年1回
給食担当者知識・ 技術向上研修	栄養士 調理員	・食事に関する知識・技術向上のための研修(今年度はより質を上げたソフト食の提供を目指す)	年1回
事業継続に関する 研修	職員	・非常災害時における業務継続に関する内容の確認等	年2回
参加研修報告会	職員	・参加した研修内容を全職員に伝え現場で実践するための研修 例) 介護技術・排泄向上研修	年1回
身体的拘束適正化 研修	職員	・発生原因と結果等のとりまとめ ・報告の集計、分析 ・身体拘束等報告 ・報告の適正化の検討 ・適正化策を講じた後の効果	年2回

感染症及び食中毒 予防及び蔓延防止 研修及び訓練	職 員	・感染症について学び具体的な対処、処理方法を習得する ・嘔吐物処理の対応（実技を含む） ・防護服の着脱等	年各 2 回
虐待防止研修	職 員	・虐待防止について ・権利侵害等について	年 2 回
BCP 研修及び訓練	職 員	・災害等の緊急事態における早急復旧対策について ・危機的な状況に遭遇した時の対応について（実技を含む）	年各 2 回

令和 7 年度事業計画		事業所名： いなかわ福祉会ヘルパーステーション																									
現状と今後の方向性	利用者を積極的に受け入れ、利用者や家族が安定した生活が送れるように支援に努めます。サービスの質の向上に努め、喜んでいただけるよう取り組んでいきます。 介護予防・総合事業に関しての内容変更に伴い、移行時にスムーズに対応できるように努めます。 介護保険・総合事業・障害福祉サービスを切れ目なく提供できるように対応していきます。																										
重点目標	◎ 利用者、家族が安心して在宅で生活するための支援 ・利用者、家族と信頼関係を築き、自宅での生活が維持できるように支援するとともに、適切な対応ができるように介護の質の向上に努める ◎ 安定した経営の構築に努める ・安定したサービスの提供ができるように関係機関と連携し、介護保険のサービスに留まらず、総合事業・障害福祉サービスとしてもヘルパーを利用してもらえよう努めます。 月別利用者計画（延べ人数） <table><tr><td>4 月</td><td>5 月</td><td>6 月</td><td>7 月</td><td>8 月</td><td>9 月</td></tr><tr><td>500</td><td>500</td><td>500</td><td>550</td><td>600</td><td>600</td></tr><tr><td>10 月</td><td>11 月</td><td>12 月</td><td>1 月</td><td>2 月</td><td>3 月</td></tr><tr><td>600</td><td>600</td><td>550</td><td>550</td><td>550</td><td>500</td></tr></table>			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	500	500	500	550	600	600	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	600	600	550	550	550	500
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月																						
500	500	500	550	600	600																						
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月																						
600	600	550	550	550	500																						

会議開催一覧表

会 議 名	活 動 内 容	開催時間・頻度
ヘルパー会議	・利用者についての情報交換 ・困難事例等ケース検討 ・研修報告 ・その他	週 1 回
職員会議	・前月の実績を考える ・他事業所からの連絡 ・介護支援専門員への提言	月 1 回
安全委員会 (障害福祉サービス事業所)	・利用者の状態の共通認識把握 ・喀痰吸引等の実施状況の把握	3 ヶ月 1 回 必要時

教育訓練プログラム

プログラム名	対象者	教育訓練内容	実施期間
ミニ研修	職 員	・年間計画のテーマに沿って実施	月 1 回
事業所全体研修	職 員	・救急救命・介護技術など	年 1 回
サービス提供 責任者研修	サービス提供 責任者	・サービス提供責任者の業務のあり方	年 1 回
新任研修	新任職員	・訪問介護の概要、業務内容 ・行動基準 ・各種書類、記録の書き方	4 月
感染症予防及び 蔓延防止研修及び 訓練	職 員	・感染症について学び具体的な対処、処理方法を習得する ・嘔吐物処理の対応（実技を含む） ・防護服の着脱等	年各 1 回
虐待防止研修	職 員	・虐待防止について ・権利侵害等について	年 1 回
BCP 研修及び訓練	職 員	・災害等の緊急事態における早急復旧対策について ・危機的な状況に遭遇した時の対応について（実技を含む）	年各 1 回

令和7年度事業計画		事業所名： ケアセンターいなかかわデイサービス																											
現状と今後の方向性	在宅サービス（訪問介護やデイサービス等）が苦戦する昨近ですが、背景には入院からの施設利用（特養・老健・ショートステイ等）の流れが顕著になっている事が伺えます。本事業所も例外ではなく、一時期よりも利用者数が減少しており、加えて、利用される方の介護度が軽くなっている現状（要支援 1～要介護度 2 までの方の割合が約 8 割）のため収支に繋がってこない状況が続いています。しかしながら、地元の利用者から信頼される事業所であり続けられるよう、利用者と家族のニーズに応え、職員の定着や介護の質を高めるよう努めていきます。																												
	◎満足していただけるサービスの提供 ・接客技術の向上（言葉遣い、接遇マナー等） ・通所介護計画の把握による個別的ケアの実施 ・季節感のある行事の実施 ・健康づくりのための軽体操、口腔体操、フットケア等の実施 ◎安定した経営 ・業務内容やサービス内容の見直し、人員配置の再構築 ・新規利用者、利用回数増希望者の積極的な受け入れ ・居宅事業所との情報の共有と柔軟な受け入れ ・A 型デイサービス（自立支援を促すサロンのようなデイサービス）開始による新規利用者の開拓 ◎職員スキルの向上と人材育成 ・職員会議における内部研修の実施（毎月実施） ・OJT、OFF-JT を有効活用し、職員の質を高める 月別利用者計画（延べ人数） <table><tr><td>4 月</td><td>5 月</td><td>6 月</td><td>7 月</td><td>8 月</td><td>9 月</td></tr><tr><td>484</td><td>484</td><td>462</td><td>462</td><td>484</td><td>484</td></tr><tr><td>10 月</td><td>11 月</td><td>12 月</td><td>1 月</td><td>2 月</td><td>3 月</td></tr><tr><td>484</td><td>462</td><td>484</td><td>462</td><td>440</td><td>484</td></tr></table>						4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	484	484	462	462	484	484	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	484	462	484	462	440
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月																								
484	484	462	462	484	484																								
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月																								
484	462	484	462	440	484																								
重点目標																													

会議開催一覧表

会 議 名	活 動 内 容	開催時間・頻度
職員会議	・実績報告 ・事例検討 ・サービス内容の見直し ・各種報告 ・各種研修	月 1 回

教育訓練プログラム

プログラム名	対象者	教育訓練内容	実施期間
新任・新人研修	新任・ 新人職員	・デイサービスの概要 ・業務内容 ・行動基準 ・各種書類、記録の書き方	適宜実施
倫理・法令遵守について	職 員	・職員が守るべき倫理や法令	4 月
身体的拘束防止	職 員	・身体的拘束の防止、排除について	5 月
認知症ケア研修	職 員	・認知症、認知症ケアについて	6 月
食中毒についての研修	職 員	・食中毒のまん延防止及び予防	7 月
非常災害時の対応研修	職 員	・非常災害発生時の対応	8 月
プライバシー保護について	職 員	・利用者のプライバシー保護の取り組み	9 月
事故発生緊急時の対応	職 員	・事故発生等緊急時の対応	10 月
口腔ケア研修	職 員	・口腔ケアについて	11 月
感染症についての研修	職 員	・感染症の発生時対応マニュアルの検討 ・感染症のまん延防止及び予防	12 月
事故・ヒヤリハット事例の 検討	職 員	・事故やヒヤリハットの事例検討	1 月
接遇マナー研修	職 員	・利用者と顧客に対するおもてなしの精神や接 遇マナーについて	2 月
法令や制度の研修	職 員	・デイサービスに関する法令や制度について	随 時
事業継続に関する研修	職 員	・非常災害時における業務継続に関する内容 の確認等	随 時

入浴介助に関する研修	職 員	・入浴介助について	随 時
感染症予防及び蔓延防止 研修及び訓練	職 員	・感染症について学び具体的な対処、処理方法を習得する ・嘔吐物処理の対応（実技を含む） ・防護服の着脱等	年各 1 回
虐待防止研修	職 員	・虐待防止について ・権利侵害等について	年 1 回
BCP 研修及び訓練	職 員	・災害等の緊急事態における早急復旧対策について ・危機的な状況に遭遇した時の対応について（実技を含む）	年各 1 回

※内部研修の実施内容は前後する場合があります

令和7年度事業計画		事業所名： 健寿苑サテライト型特別養護老人ホーム ケアセンターいなかわ																									
現状と今後の方向性	令和6年度より地域密着型のサテライト特養に転用し1年が過ぎようとしています。4月当初は10名の入居者からのスタートでしたが、8月には満床となり、年度の後半からは順調なサービスを提供する事が出来ています。昨年12月に新型コロナウイルスによる集団感染もありましたが、重篤な入居者を出す事がなく施設における連携にて乗り切ることができました。当事業所は入居された皆様が自宅と同じように生活できるように個別ケア・ユニットケアを推進していますが、今後も入居者の皆様の気持ちに寄り添い、喜ばれるサービスを提供できるように頑張っていきます。また、事業所内研修、外部研修等による職員のスキルアップ・介護の質の向上、入居者とその家族が満足できるサービスの提供に努めていきます。																										
重点目標	◎尊厳ある入居者に敬意を払った謙虚な姿勢で、安全安心で質の高いサービスを提供する ・入居者に敬意を払い、謙虚な姿勢と丁寧な言葉遣いで接する ・個別の様態や要望に対応するため、個別ケア・ユニットケアを進める ・サービスの質の向上と課題把握のために、サービスの自己評価や内部研修の実施、外部研修への参加を行う ◎統一されたサービスを提供するため、職員同士で情報の共有を行う ・統一されたケアを行うため、職員間での日常的な情報共有の工夫や会議での確認を行う ◎経営安定のために積極的な受け入れを行う ・居宅介護支援事業所へ空床情報を細やかに提供し、柔軟な受け入れを行う 月別入居者計画（延べ人数） 目標稼働率 95% <table><tr><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td></tr><tr><td>570</td><td>589</td><td>570</td><td>589</td><td>589</td><td>570</td></tr><tr><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr><tr><td>589</td><td>570</td><td>589</td><td>589</td><td>532</td><td>589</td></tr></table>			4月	5月	6月	7月	8月	9月	570	589	570	589	589	570	10月	11月	12月	1月	2月	3月	589	570	589	589	532	589
4月	5月	6月	7月	8月	9月																						
570	589	570	589	589	570																						
10月	11月	12月	1月	2月	3月																						
589	570	589	589	532	589																						
その他	年2回の避難訓練の実施（夜間想定避難訓練、大規模地震を想定した日中避難訓練）																										

会議開催一覧表

会 議 名	活 動 内 容	開催時間・頻度
職員会議	・実績報告 ・委員会報告 ・内部研修 ・研修報告 ・ユニット内報告	月 1 回
リーダー会議	・ユニット会議報告 ・問題点や方向性の確認 ・業務の見直し	月 1 回
ユニット会議（北・南）	・ケースカンファレンス ・モニタリング ・困難事例検討会 ・行事（年間）	適宜開催
運営推進会議	・事業報告 ・意見交換	隔月 1 回（奇数月）

教育訓練プログラム

プログラム名	対象者	教育訓練内容	実施期間
倫理・法令遵守研修	職 員	・介護保険事業所としての法令順守（コンプライアンス）の再確認	年 1 回
プライバシー保護の研修	職 員	・個人情報保護法を通してのプライバシー保護に関する内容を再確認	年 1 回
身体的拘束に関する研修	職 員	・身体的拘束について	年 2 回
認知症と認知症ケアに関する研修	職 員	・認知症と認知症ケアについての再確認	年 1 回
事故・ヒヤリハット事例の検討	職 員	・事業所内の事故やヒヤリハットの事例検討を実施	年 1 回
トラブル事例研修	職 員	・事業所と家族間のリスクについて動画視聴を通して事例を検討	年 1 回
口腔ケアの研修	職 員	・口腔ケアについて	年 2 回
介護技術の研修	職 員	・介護技術について	随時
外部研修	職 員	・外部研修への参加	随時
感染症及び食中毒予防及び蔓延防止研修及び訓練	職 員	・感染症について学び具体的な対処、処理方法を習得する ・嘔吐物処理の対応（実技を含む） ・防護服の着脱等	年各 2 回
虐待防止研修	職 員	・虐待防止について ・権利侵害等について	年 2 回
BCP 研修及び訓練	職 員	・災害等の緊急事態における早急復旧対策について ・危機的な状況に遭遇した時の対応について（実技を含む）	年各 2 回

※内部研修の実施内容は前後する場合があります

令和7年度事業計画		事業所名：配食サービス																																																	
現状と今後の方向性	地域における高齢者世帯や独居高齢者の方々の健康を支えるという意味で、配食サービスは、その方の生活の安心要素の一つとして定着してきていて、有事の際の安否確認にも繋がるという意味では地域における大切な事業の一つとも言えます（昨年は救急搬送に繋がったケースが1件ありました）。令和4年頃から続いたコロナ禍により、ご家族要望にて食数も順調に増加し、令和6年度は最終的に6,000食を超える食数になる事が見込まれています。令和7年度より湯沢市からの補助金（1食につき200円程度）は無くなる形となりますが、今後も提供価格の調整を図りながら現状のサービスを維持し、地域における福祉サービスの一つとしてご利用いただけるように努めていきます。																																																		
重点目標	◎安心して在宅での介護、生活ができるようサポートする ・衛生的で栄養のバランスがとれた食事での栄養改善や健康維持を目的とする ・高齢者世帯や一人暮らしの方の安否確認 ・緊急時の対応等の整備 ◎食事の個別ケアに努める ・高齢者向けのメニュー、味付け、食形態で提供 ・粥、刻み食等の対応 ・アレルギーや禁止食品の除去、代替食提供 ・食材高騰における代替え食品等の研究、メニューの開発 ◎事業の目的に沿い、的確なサービス提供と支援に努める ・地域包括支援センターや関係機関、多職種と連携しながら、多様化した支援の一部であることを自覚した上で食事作りに取り組む																																																		
	月別利用者計画（延べ食数） <table><tr><td colspan="2"></td><td colspan="5">おかず…3,468食、弁当2,300食</td></tr><tr><td></td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td></tr><tr><td>おかず</td><td>285食</td><td>295食</td><td>285食</td><td>304食</td><td>304食</td><td>285食</td></tr><tr><td>弁当</td><td>183食</td><td>190食</td><td>183食</td><td>218食</td><td>218食</td><td>185食</td></tr><tr><td></td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr><tr><td>おかず</td><td>295食</td><td>285食</td><td>290食</td><td>290食</td><td>260食</td><td>290食</td></tr><tr><td>弁当</td><td>210食</td><td>183食</td><td>190食</td><td>190食</td><td>160食</td><td>190食</td></tr></table>					おかず…3,468食、弁当2,300食						4月	5月	6月	7月	8月	9月	おかず	285食	295食	285食	304食	304食	285食	弁当	183食	190食	183食	218食	218食	185食		10月	11月	12月	1月	2月	3月	おかず	295食	285食	290食	290食	260食	290食	弁当	210食	183食	190食	190食	160食
		おかず…3,468食、弁当2,300食																																																	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																																													
おかず	285食	295食	285食	304食	304食	285食																																													
弁当	183食	190食	183食	218食	218食	185食																																													
	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																													
おかず	295食	285食	290食	290食	260食	290食																																													
弁当	210食	183食	190食	190食	160食	190食																																													

令和7年度事業計画		事業所名：健寿苑サテライト型特別養護老人ホームスマイルケアみつなし				
現状と今後の方向性	令和6年度は、施設内感染が起きてしまい、新規の入居者を迅速に入れることができませんでした。令和7年度も感染対策を十分に行い、入居者や職員の健康管理や精神的ケアを行っていきます。 また、家族の面会や地域交流を行いながら、入居者が季節を感じられるような行事や交流の機会を作っていきます。					
	◎個別の生活リズムを大切に、その人らしい生活を送ることができる ・入居者が自宅と同じような生活ができるように個別ケア・ユニットケアを進める ・入居者が楽しみをもって暮らすことができるように、様々な行事や活動を企画し実施する ◎質の高い統一されたサービスを提供する為に研修の機会を作り、職員の接遇や介護技術・介護の質の向上を図る ・統一されたケアを行う為、職員間での情報共有を行う ・介護の質の向上を図るために職員の処遇や知識、技術を高めることができる研修会を定期的に行う ◎地域との結びつきを大切に、入居者や家族等との交流の機会を設ける ・地域住民や家族等が参加できる行事を実施したり、入居者が地域の行事に参加したりして地域との交流を図る					
重点目標	月別入居者計画（延べ人数）					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	570	589	570	589	589	570
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	589	570	589	589	532	589

会議開催一覧表

会 議 名	活 動 内 容	開催時間・頻度
職員会議	・全職員で共通課題・重要課題について話し合い、課題解決を図る	月 1 回
リーダー会議	・介護部における重要課題について話し合い、課題解決を図る	月 1 回
ユニット会議	・ユニットごとにおける重要課題について話し合い、課題解決を図る	月 1 回
運営推進会議	・地域代表、民生委員、市職員、利用者家族と話し合い、より良い運営推進を図る	隔月 1 回

教育訓練プログラム(内部研修)

プログラム名	対象者	教育訓練内容	実施期間
ユニットケアに関する研修	職 員	・ユニットケアについての研修	4 月
緊急時の対応についての研修	職 員	・オンコール体制と夜間の緊急時の対応についての研修	4 月
倫理・法令遵守研修	職 員	・倫理や法令、職員心得、規定等に関する研修	5 月
医療に関する教育、研修	職 員	・医療に関する知識や業務分担等、教育や研修	5 月
食中毒について	職 員	・食中毒の発生事例、ヒヤリハット等の検討 ・食中毒のまん延防止及び予防について	6 月
薬について	職 員	・薬についての研修	6 月
身体拘束適正化の研修	職 員	・身体拘束適正化について	7 月
認知症ケア研修	職 員	・認知症や認知症ケアについて ・認知症の最新の知識等について	7 月
事故・ヒヤリハット事例の検討	職 員	・事故やヒヤリハットの事例検討について	8 月
事故の発生予防と再発防止の研修	職 員	・事故の発生予防や再発防止について	8 月
接遇・マナー研修	職 員	・接遇・マナーについて	9 月
非常災害時の対応の研修	職 員	・非常災害発生時の対応について	9 月

プライバシー保護の研修	職 員	・利用者のプライバシー保護の取り組みについて	10 月
ターミナルケアに関する研修	職 員	・ターミナルケアと精神的ケアに関する研修	12 月
事故発生緊急時の対応の研修	職 員	・事故の発生等緊急時の対応について	1 月
事故の発生予防と再発防止の研修	職 員	・事故の発生予防や再発防止について	1 月
身体的拘束適正化の研修	職 員	・身体的拘束適正化について	2 月
法令や制度の研修	職 員	・地域密着型特別養護老人ホームに関する法令や制度について	随 時
介護技術の研修	職 員	・介護技術について	随 時
外部研修	職 員	・外部研修への参加	随 時
口腔ケア知識・ 技術向上研修	職 員	・歯科医師会や食介護研究会より講師を招き、口腔ケア知識・技術向上のための研修 ・口腔ケア総論（講義）、実技指導等	年 2 回
感染症及び食中毒予防 及び蔓延防止 研修及び訓練	職 員	・感染症について学び具体的な対処、処理方法を習得する ・嘔吐物処理の対応（実技を含む） ・防護服の着脱等	年各 2 回
虐待防止研修	職 員	・虐待防止について ・権利侵害等について	年 2 回
BCP 研修及び訓練	職 員	・災害等の緊急事態における早急復旧対策について ・危機的な状況に遭遇した時の対応について（実技を含む）	年各 2 回

令和 7 年度事業計画		事業所名： 小規模多機能型居宅介護スマイルケアみつなし					
現状と今後の方向性	令和 6 年度は、事業所にて新型コロナウイルス感染症の発症に伴い、通い利用を数日間中止しました。そのため、利用者やその家族の皆様には大変ご迷惑とご心配をおかけしました。ご協力をいただいたことに感謝しています。また、5 類感染症に変更となったことで、外出行事を多く取り入れ、利用者の方々に楽しい時間を過ごしていただくことができた年でした。 今後の方向性として、地域の行事等へ出かけ、地域の方との触れ合いや、施設内での演奏や唄、作品づくり等を楽しんでいただけるイベントを多く模索し、地域の方や利用者家族と過ごす時間を多く持ちたいと思っています。						
重点目標	◎多機能としての機能性を活かし、利用者の生活を柔軟に支えていく						
	・その人らしい生活が送れるように、必要時には利用者や家族に意向を確認し適切な対応が出来るように努める						
	・軽体操や季節行事等を行い、利用者の心身の健康づくりに努める						
	・外部・内部研修で得た知識・技術を職員間で共有し、介護の質の向上を図る						
重点目標	◎地域に根差した事業所になれるように、地域との連携を図る						
	・運営推進会議を定期的に開催し、事業所運営やサービス内容に対して助言をいただき、質の向上を図る						
	・地域行事や施設内行事での交流を通して、地域や家族等との関係づくりに努める						
	◎新規の利用者を積極的に受け入れる						
重点目標	・関係機関へ空き情報の提供を行い、新規利用者の積極的な受け入れを行う						
	・関係機関との積極的な連携を図り受け入れ体制を作る						
	・業務内容やサービス内容の見直しを行う						
	月別利用者計画（延べ人数）						
重点目標		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
	訪問	16	16	16	24	24	24
	通い	128	133	128	125	125	128
	泊り	55	60	60	50	50	50
		1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月
	訪問	16	16	16	16	16	16
	通い	140	140	140	140	130	140
	泊り	60	60	60	50	50	60

会議開催一覧表

会 議 名	活 動 内 容	開催時間・頻度
職員会議	・職員で事例検討や重要課題について話し合い、利用者に関する情報共有や留意事項についての意見交換、各種委員会及び研修報告を行う	月 1 回
運営推進会議	・地域代表、民生委員、市職員、利用者家族に参加していただき、各サービスの活動状況を報告し、事業所の運営に対する評価、要望、助言をいただき、サービスの質の確保及び適切な運営を目指す	隔月 1 回

教育訓練プログラム(内部研修)

プログラム名	対象者	教育訓練内容	実施期間
緊急時の対応についての研修	職 員	・緊急時及びオンコール体制と夜間の緊急時の対応についての研修	4 月
感染症等の蔓延防止及び予防の研修及び訓練	職 員	・感染症の予防及び蔓延防止についての研修及び訓練	5 月
食中毒についての研修	職 員	・感染症及び食中毒の発生予防及び蔓延防止に関する研修、事例検討等	6 月
成年後見制度についての研修	職 員	・成年後見制度に関する知識の習得	7 月
事故の発生または事故再発防止についての研修	職 員	・事故の発生予防またはその再発防止に関する研修、虐待について	8 月
非常災害時の対応についての研修	職 員	・火災、風水害、地震等による非常災害発生時の対応についての研修	9 月
プライバシー保護の取り組みについての研修	職 員	・利用者のプライバシー保護の取り組みについて	10 月
倫理及び法令遵守についての研修	職 員	・職員が守るべき倫理、介護サービスに関連する各種法令等についての研修	11 月
身体的拘束等の排除についての研修	職 員	・身体的拘束の排除に向けた取り組みや制度の理解、事例検討等	12 月
認知症及び認知症ケアについての研修	職 員	・認知症及び認知症ケアに関する研修 ・認知症高齢者に対する配慮や接し方	1 月

介護技術についての研修	職 員	・介護技術の習得についての研修	2 月
身体拘束等の排除についての研修	職 員	・身体拘束の排除に向けた取り組みや制度の理解、事例検討等	2 月
医療についての研修	職 員	・利用者の健康を維持するための医療に関する知識や理解を深める研修	3 月
苦情・苦情についての対応	職 員	・利用者やその家族の相談・苦情への対応についての研修	3 月
新任の職員を対象とする研修	職 員	・新任の職員に対する研修	随 時
外部研修	職 員	・外部研修への参加	随 時
虐待防止研修	職 員	・虐待防止について ・権利侵害等について	年 1 回
BCP 研修及び訓練	職 員	・災害等の緊急事態における早急復旧対策について ・危機的な状況に遭遇した時の対応について（実技を含む）	年各 1 回

令和7年度事業計画		事業所名：ヘルスカフェ舞夢																								
現状と今後の方向性	登録者は上限に達している状況です。運動に加え、口腔ケアに関してのサービスも開始し、より充実した支援体制を整えました。健康状態の把握に努めると共に、他事業所と連携し適切なサービスの提供に努めます。																									
重点目標	◎質の高いサービスの提供 ・接客技術の向上（言葉遣いと接客マナーについて） ・運動機能訓練技術の習得と機能訓練の実施 ・運動器に関する定期的な体力測定の実施・評価と個別目標の見直し ・口腔機能の改善及び維持、心身の状態の維持又は向上 ・口腔ケアに関する定期的な評価と個別目標の見直し ・感染症予防対策の徹底																									
	◎安定した経営 ・新規利用者の積極的な受け入れ ・居宅介護支援事業所や関係機関への情報提供の実施																									
重点目標	◎職員のスキル向上と人材育成 ・職員会議における検討会や研修の実施 ・各種制度やサービスの法的解釈の研修																									
	月別利用者計画（延べ人数） <table><tr><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td></tr><tr><td>230</td><td>270</td><td>260</td><td>280</td><td>220</td><td>240</td></tr><tr><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr><tr><td>280</td><td>260</td><td>270</td><td>220</td><td>200</td><td>240</td></tr></table>			4月	5月	6月	7月	8月	9月	230	270	260	280	220	240	10月	11月	12月	1月	2月	3月	280	260	270	220	200
4月	5月	6月	7月	8月	9月																					
230	270	260	280	220	240																					
10月	11月	12月	1月	2月	3月																					
280	260	270	220	200	240																					
重点目標																										

会議開催一覧表

会 議 名	活 動 内 容	開催時間・頻度
職員会議	・実績報告・事例検討・個別機能訓練計画の検討	月 1 回

教育訓練プログラム

プログラム名	対象者	教育訓練内容	実施期間
倫理・法令遵守	職 員	・守るべき倫理や法令	6 月
身体的拘束について	職 員	・身体的拘束の防止について	7 月
個人情報利用保護について	職 員	・個人情報の取り扱いについて	9 月
事故発生・緊急時対応研修	職 員	・事故発生や緊急時の対応	10 月
感染症予防及び蔓延防止研修及び訓練	職 員	・感染症について学び具体的な対処、処理方法を習得する ・嘔吐物処理の対応（実技を含む） ・防護服の着脱等	11 月
職員研修	職 員	・介護予防に関する研修	適宜
法令や制度の研修	職 員	・介護予防・日常生活総合支援事業に関する法令や制度について	2 月
虐待防止研修	職 員	・虐待防止について ・権利侵害等について	年 1 回
BCP 研修及び訓練	職 員	・災害等の緊急事態における早急復旧対策について ・危機的な状況に遭遇した時の対応について（実技を含む）	年各 1 回

令和 7 年度事業計画		事業所名： あおぞらこども園																								
現状と今後の方向性	現在のところ 1 名が退職し、4 月から新卒者 1 名、短時間勤務の子育て支援員取得者 1 名の 2 名が入会予定です。また育児休暇取得中の 1 名が 5 月中旬より短時間勤務で復帰します。 園児の人数は 4 月当初は、昨年より 8 名減でのスタートとなり、支援が必要な園児が増えてきているため、クラス担任以外で療育手帳取得児 2 名に保育者を配置します。さらに 3 歳未満児にも肢体不自由児が入園するため、子育て支援員 2 名を 0～1 歳児に配置し、手厚い保育ができるようにします。また、利用定員を下げることでより基本単価を上げ、収入の減額を少しでも抑えていきたいと思ひます。 保育現場では、引き続き感染症の拡大防止に努めながら、重大事故につながらないように、職員全員で気を付けながら、重点目標を意識し運営していきまひす。																									
	◎教育保育について ・園全体の危機管理の理解を踏まえ、園内外で園児が安全・安心に生活でき、楽しく遊べる環境を整えていく ・障害に関する知識や配慮等についての正しい理解と知識を深め、障がいのある園児の保育や支援について、保護者等に寄り添いながら支援を行っていく ◎経営・組織 ・職員が自ら工夫し、協力できる園づくり ・保護者が安心して預けられる園づくりをしていくため、保育内容、意味を分かりやすく伝えていく ・令和 8 年度から病後児保育を開設できるよう、今年度はお試しで自主事業として行い、ニーズがあり利用者がいることを市に伝えて行き、具体的に進めていく ◎開かれた園づくり ・ふるさとの魅力を見たり聞いたりしながら、地域の方々と触れ合う機会を作っていく ・幼保小連携では年間計画を立て計画的に行い、地域の中小保連携で「元気なあいさつ」ができる子をめざしていく 月別園児数計画 （延べ人数）<table><tr><td>4 月</td><td>5 月</td><td>6 月</td><td>7 月</td><td>8 月</td><td>9 月</td></tr><tr><td>98</td><td>99</td><td>99</td><td>101</td><td>103</td><td>103</td></tr><tr><td>10 月</td><td>11 月</td><td>12 月</td><td>1 月</td><td>2 月</td><td>3 月</td></tr><tr><td>103</td><td>105</td><td>105</td><td>105</td><td>106</td><td>106</td></tr></table>			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	98	99	99	101	103	103	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	103	105	105	105	106
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月																					
98	99	99	101	103	103																					
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月																					
103	105	105	105	106	106																					
重点目標																										

会議・研修開催一覧表

会 議 名	活 動 内 容	開催時間・頻度
職員会議	・月毎の行事等の確認と反省 ・各クラス担任からの園児に関する情報共有(連携と協力体制の確認) ・園外研修報告など	年 12 回
給食会議	・献立内容、衛生面、アレルギーの確認等	年 12 回 (職員会議後)
リーダー会議	・週の主な活動や重要事項等の確認 ・園児に関する情報共有	毎週月曜日
行事担当会議	・担当者が中心となり園行事の内容、進行を確認	行事前
園内研修	・研修担当を中心にテーマを決めて研修を進める	年 12 回
ヒヤリハット委員会	・保育部内のヒヤリハットをまとめ、今後の事故防止のための注意喚起を行う	年 2 回
湯沢市保育施設連絡協議会 ・園長会議 ・主任会議	・湯沢市内の園長が集まり、湯沢市との連携を図る ・連絡協議会等の行事の話し合い ・情報交換	年 6 回

教育訓練プログラム

プログラム名	教育訓練内容	講師等	実施期間
他機関による研修 ・乳幼児保育研修 ・主任保育士研修 ・PDCA 研修 ・5 年、10 年経験者研修 ・キャリアアップ研修 等	・職員の勤続年数、業務内容や希望に合わせ、参加する研修を検討し、園全体の資質向上を図る ・処遇改善と専門性の向上を図る	外部講師	随 時

令和7年度 稲川子育て支援センター事業実施計画(案)

活動項目	活動	活動内容	実施計画
相談業務	子育て相談 電話相談など	・育児不安解消のための知識や技術を提供する ・幼児虐待防止、早期発見 ・ストレス解消	毎週月曜～金曜日 (祝祭日を除く) 9時～16時
子育て支援の活動	支援室の開放	・母親同士の交流、仲間づくりの場を提供 ・親子で存分に触れ合う場の提供 ・育児不安解消のための情報提供 ・子ども同士の触れ合いの場、遊具の提供 ・サークル活動の立ち上げ ・育児相談	毎週月曜～金曜日 (祝祭日を除く) 9時～16時
	絵本の読み聞かせ	・乳幼児期からの絵本の読み聞かせの大切さを知らせる ・親子でいろいろな絵本に親しむ機会をつくる	毎週火曜、木曜日
	絵本の貸し出し	・支援室の絵本を貸し出し、親子の触れ合いや絵本を楽しんでもらう ・絵本への興味のきっかけづくり	毎週月曜～金曜日 (祝祭日を除く) 貸出期間 2 週間
	チャレンジタイム	・様々な活動を通し、親子の触れ合いの場をつくる ・母親同士の交流、仲間づくりの場の提供、育児相談	年 12 回 10 時～11 時 毎月 1 回実施(予約制)
	誕生会	・誕生会に親子で参加し、楽しんでもらう	毎月 1 回実施 10 時～11 時
	すくすく成長記録	・身長、体重の測定会	毎月 1 回 9 時～16 時
	ママのためのホッとひといきタイム	・様々な活動を通し、親子で触れ合える場を作ったり、仲間づくりの場の提供をする ・ゆっくりとした時間を過ごしながらか子育ての情報交換をする	年 6 回程度 (予約制) 10 時～11 時
広報活動	通信の配布 ポスター作成 パンフレット作成	・行事のご案内等を個々に知らせる ・子育てに必要な知識や身近な情報を提供する ・市民に事業内容を理解してもらう	年 12 回 (毎月) 通年 年 1 回ポスター

令和7年度 稲川子育て支援センター年間活動計画

	支援室開放 相談受付 絵本貸出	絵本読み 聞かせ	すくすく 成長記録	チャレンジタイム	誕生会	クッキング* (予約制)	センター会議
4 月	毎週 月曜日 ～ 金曜日 9 時～ 16 時	毎週 火曜日 と 木曜日	3 日	17 日 こいのぼりを 作ろう	15 日 誕生会	実施なし	月 1 回
5 月			1 日	16 日 手形・足形 アート	7 日 誕生会	23 日 こいのぼり ホットケーキ	月 1 回
6 月			5 日	20 日 小園庭で遊ぼ う	11 日 誕生会	実施なし	月 1 回
7 月			3 日	17 日 水遊び	15 日 誕生会	25 日 簡単パフェ	月 1 回
8 月			7 日	22 日 うちわを 作ろう	7 日 誕生会	実施なし	月 1 回
9 月			4 日	19 日 フィンガーペ イント	11 日 誕生会	29 日 フルーツポンチ	月 1 回
10 月			2 日	16 日 運動会 ごっこ	15 日 誕生会	実施なし	月 1 回
11 月			6 日	21 日 おもちゃを 作ろう	18 日 誕生会	28 日 手作り クレープ*	月 1 回
12 月			4 日	中旬 クリスマス会	15 日 誕生会	実施なし	月 1 回
1 月			8 日	23 日 鬼のお面を 作ろう	15 日 誕生会	30 日 クリーミー マッシュ ポテト	月 1 回
2 月			5 日	20 日 おひな様を 作ろう	3 日 誕生会	13 日 手巻き寿司	月 1 回
3 月			6 日	19 日 楽しみ会	3 日 誕生会	27 日	月 1 回

令和7年度事業計画		事業所名： いなかわキッズ																									
現状と今後の方向性	年度の途中で1名が退職しましたが、現在8名の非常勤支援員と1名の非常勤事務員の計9名で学童保育を行っています。 日常は、宿題や制作、ゲームを中心に時間を決めてホールでの運動遊びを行っています。小学生なので自分一人で行えることが多いため、子ども達の好きなことや多様な能力を伸ばしていけるように様々な教材を準備したり、行事を企画したりしながら、日々楽しい児童クラブを目指していきます。																										
	◎保育の充実 ・遊びの場の中で、自分達で遊びを考え工夫できるようにサポートする ・学業（宿題等）と遊びのメリハリができるように環境を整え、充実を図る ◎職員間のコミュニケーション ・報連相の徹底（会議、伝言、メモ、業務日誌等、何でも話せる環境づくり） ・危機管理の徹底 ◎家庭との連携 ・送迎時の会話、電話、メールの活用、通信等を通して、信頼関係を築く ・傾聴の姿勢を大切にする ◎小学校や地域との連携 ・学校行事、下校時間等の報告、情報交換会の実施 ・民児協の方々との定例会や交流会の実施																										
重点目標	月別児童数計画（延べ人数）																										
	<table><tr><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td></tr><tr><td>1,000</td><td>1,000</td><td>1,000</td><td>1,200</td><td>1,000</td><td>1,000</td></tr><tr><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr><tr><td>1,100</td><td>1,100</td><td>900</td><td>900</td><td>900</td><td>800</td></tr></table>			4月	5月	6月	7月	8月	9月	1,000	1,000	1,000	1,200	1,000	1,000	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1,100	1,100	900	900	900	800
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																					
	1,000	1,000	1,000	1,200	1,000	1,000																					
	10月	11月	12月	1月	2月	3月																					
1,100	1,100	900	900	900	800																						

会議開催一覧表

会 議 名	活 動 内 容	開催時間・頻度
職員会議	毎月の活動内容等の検討をしながら充実した放課後の時間に繋げる	月 1 回
情報交換会	① 地域への情報発信 ・ 稲川地区、民児協の方々との定例会を開催し、情報を発信したり、児童との交流会をおこなう ② 小学校との情報交換 ・ 情報交換等を通し児童の安心・安全な生活に繋げる ③ 保育施設との情報交換 ・ 主に新 1 年生を対象に必要な情報を得ながらスムーズな学童保育の利用に繋げる	適宜

教育訓練プログラム

プログラム名	対象者	教育訓練内容	講師等
放課後児童支援員 認定資格研修	職 員	支援員資格取得のための研修	秋田県
放課後児童支援員 等資質向上研修	職 員	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準第 10 条第 3 項に規定する研修	秋田県
支援員研修	職 員	支援員研修	湯沢市主催

令和 7 年度 いなかわ福祉会 事業所別年間行事・活動予定表

	法人全体	事務局	ケアプラザいなかわ		ケアセンター				スマイルケアみつなし			舞夢	あおぞら	いなかわ キッズ
			包括	くるみ	健康苑 (ヨガ含む)	ヘルパー	ケアデイ	ケア特養	配食	特 養	小規模			
4 月							花見ドライブ	花見散歩		花見ドライブ	花見ドライブ		入園式 歓迎会	歓迎会
5 月	職員健診				花植え 避難訓練(夜間)		花見ドライブ	避難訓練(夜間) 運営推進会議		下宿お祭り 運営推進会議	花植え 下宿お祭り 運営推進会議		こどもの日 誕生会 保護者面談	防災訓練 (地震)
6 月	職員健診	法人監査 理事会 評議員会 理事会	脳若健康教室					入居者健診		避難訓練(夜間) 誕生会	避難訓練(夜間) 新緑ドライブ		以上児 保育参観	
7 月		四半期監査	ささえ愛 懇談会				調理レク	運営推進会議		避難訓練 運営推進会議	あやめ園・ライヴ 運営推進会議		夏まつり	防災訓練 (火災)
8 月		職員採用試験 (大学・短大・専 門学校)	認知症サポ ーター養成 講座		ミニ納涼祭		セタまつり かき水	セタまつり かき水		夏まつり 避難訓練 (土砂災害)	セタ祭り かき水		セタ誕生会	夏休みイベント
9 月	ストレスチェック	理事会 評議員会	アルツハイ マー展示		敬老会		敬老会	地蔵様まつり 敬老会 運営推進会議		敬老会 運営推進会議	敬老会 稲穂うどん試食会 運営推進会議		親子運動会	防災訓練 (防犯)
10 月					ミニ運動会 紅葉ドライブ 避難訓練	避難訓練	ミニ運動会 紅葉ドライブ 避難訓練	避難訓練		避難訓練 買い物・ライヴ	避難訓練 紅葉ドライブ タリア園・ライヴ		遠足	ハロウィンイベント
11 月	夜勤者健診	半期監査						運営推進会議		紅葉ドライブ 運営推進会議	紅葉ドライブ 芋煮会 運営推進会議		ゆうぎ会	避難訓練 (ジャラート)
12 月		理事会 評議員会	ささえ愛 懇談会		クリスマス会 もちつき		クリスマス会 もちつき	クリスマス会 もちつき		クリスマス会 もちつき	クリスマス会 もちつき		クリスマス会 もちつき大会 未曽見保育参観	冬休みイベント
1 月					書初め		書初め	誕生会 運営推進会議		誕生会 運営推進会議	書き初め 運営推進会議		保護者面談	
2 月		四半期監査			節 分		節 分	節 分		下宿火祭り 節 分	下宿火祭り 節 分		節分誕生会 (まとも) 年長児と楽しみ会 体験入学 体験入園、入園説明会	避難訓練 (まとも) 保護者説明会
3 月		理事会 評議員会 第三者委員会			ひなまつり		ひなまつり	ひなまつり 運営推進会議		ひなまつり 運営推進会議	ひなまつり 運営推進会議		ひなまつり 誕生会 卒園式 保護者総会	卒業・進級 イベント
その他					誕生会 ふるさとドライブ		誕生会	誕生会		リナー訪問販売	誕生会 調理レク 「ほっこり」 いなかわたいのつどい		誕生会・避難訓練 地域との交流 中学生との交流 交通安全教室	

【用語一覧】

あ	インフォーマル	・ ・ ・	公的機関や専門職による制度に基づくサービスや支援以外の支援のこと
	安心生活創造事業	・ ・ ・	住民や民生委員活動等では対応できない部分を受け止め、ひとり暮らし世帯等が地域で安心して暮らすことができるよう基盤支援を必要とする人がもれなくカバーされる体制をつくるもの
	ICT	・ ・ ・	情報処理・情報通信分野の関連技術の総称
	0JT、OFF-JT	・ ・ ・	0JT は職場内の通常業務を通して職員教育を行う事で、OFF-JT は職場以外で行われる職員教育のこと
か	介護テクノロジー	・ ・ ・	高齢者や介護を必要とする人々の生活を支え、介護サービスを提供する側の負担を軽減するために活用される技術やツール
	介護ロボット	・ ・ ・	ロボット技術や AI 技術を応用し介護を必要とする方の自立支援や介護スタッフの負担を軽減を目的として作られたロボット
	キャリアパス	・ ・ ・	どのような仕事をどれぐらいの期間経験し、どの程度能力が身につくとどのポストに就けるのかを明確化したもの
	口腔ケア	・ ・ ・	口腔の疾病予防、健康保持・増進、リハビリによりQOL（人がどれだけ人間らしく思い通りに生きているかを図る尺度）の向上を目指しているケア
	コミュニティソーシャルワーク	・ ・ ・	様々な福祉施設・機関・団体にあって地域福祉活動を担当するワーカーが従来の分野別・対象別のアプローチではなくサービスを活用し、地域ネットワークを形成しながら地域の様々な生活課題を的確に把握し支援すること
さ	身体的拘束	・ ・ ・	治療や介護が必要な高齢者などの行動を同意なしに外的に制限することで、高齢者虐待の1つである 例）ひもで身体をベッド・椅子に縛る 例）個室などに外から鍵をかけ出られなくする など様々なケースが考えられる
	成年後見制度	・ ・ ・	認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力の不十分な方々の財産管理や身上保護などの法律行為を保護し支援すること
た	特定事業所加算	・ ・ ・	質の高い介護サービスの提供に向けた取り組みを実施している事業所を評価する加算
	ターミナルケア	・ ・ ・	終末期医療、病気などで余命わずかになった方に行うケア
な	ニーズ	・ ・ ・	必要性
	認知症カフェ	・ ・ ・	認知症当事者や家族などの孤立を防ぎ、地域住民に認知症について理解してもらう目的で集まるサロンのようなもの
	認知症初期集中支援チーム	・ ・ ・	認知症の方と家族を支援する専門家によるチーム、認知症が疑われる方やその家族を訪問し、適切な医療や介護を受けられるよう支援する

は	BCP	・ ・ ・	災害などの緊急事態における事業継続計画、自然災害やテロ、システム障害など危機的な状況に遭遇した時に損害を最小限におさえ、重要な業務を継続し早期復旧を図る
	ポジショニング	・ ・ ・	高齢者の体位を安定させ、快適で安全な姿勢を保つケア。褥瘡予防や呼吸機能改善など身体機能の維持・回復を目的とし、クッションなどを用いて行う
や	ヤングケアラー	・ ・ ・	本来は大人がやるべき家事や家族の世話（ケア）を日常的に行っている 18 歳未満の子どものこと
	ユニットケア	・ ・ ・	高齢者を 10 人程度のグループに分けて、生活の単位（ユニット）として介護を行う。個別の介護ができるメリットがある
ら	リスクマネジメント	・ ・ ・	各種の危険による不測の損害をできるだけ回避し効果的に処理するための経営管理手法